

足元の投資環境と運用状況について

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/株式

2021年11月25日

◎当ファンドの11月22日現在の基準価額は、為替ヘッジありが1万口当たり10,828円、為替ヘッジなしが1万口当たり10,842円となりました。

◎本レポートでは、足元の投資環境に加え、米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)の投資先ファンドである「JPモルガン・ファンズーUSテクノロジーファンド」の運用状況について紹介いたします。

本資料では「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)」「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジなし)」を総称して「当ファンド」といいます。投資先ファンドはルクセンブルグ籍外国投資法人「JPモルガン・ファンズーUSテクノロジー・ファンド」(外国籍、日本での取扱いはありません。)であり、当ファンドはそのシェアクラスである「JPモルガン・ファンズーUSテクノロジー・ファンド(1クラス)(円建て、円ヘッジ)」「JPモルガン・ファンズーUSテクノロジー・ファンド(1クラス)(円建て)」に投資します。

当ファンドの基準価額と投資環境

【ファンドの基準価額】

当ファンドの基準価額は11月22日現在、為替ヘッジありが10,828円、為替ヘッジなしが10,842円となっています。為替が設定来で円安に推移していることを受けて、ヘッジなしの基準価額がヘッジありの基準価額を上回って推移しています。

為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
10,828円	10,842円

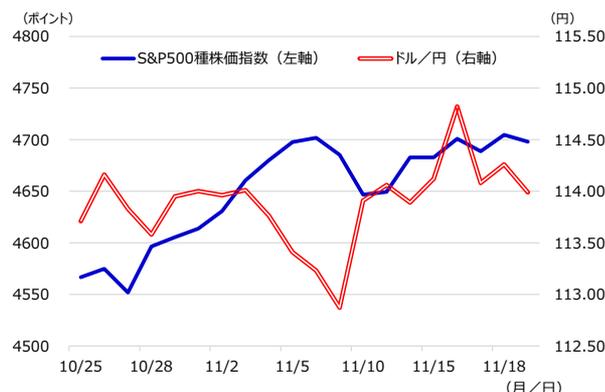
【米国株式 / 上値を試す展開】

米国株式市場は、好調な企業決算や、米連邦準備制度理事会(FRB)が早急な利上げをしない方針を示したことが好感され、10月下旬から11月初旬にかけて上昇基調が続きました。その後、高値警戒感やインフレ圧力への懸念から一時反落したものの、小売企業が好決算を発表する中で年末商戦期待が高まったことや、多くの半導体関連株が一段高となったことから、主要株価指数は再び過去最高値を更新する展開となりました。

【ドル/円 / 設定来では円安に推移】

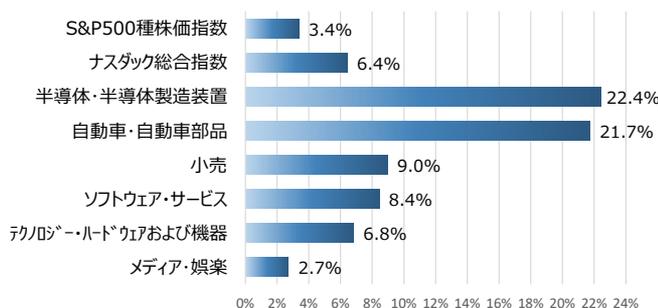
為替(ドル/円)は、11月上旬にかけて米国債利回りが低下する中、ドル売りを背景に下落しました。(円高)その後、米国債利回りが上昇に転じ、ドル買いが優勢になったことから、ドル/円は概ね反発する展開となっています。(円安)

図表1. S&P500種株価指数とドル/円の推移
(10月25日～11月19日、日次)



(出所) Bloombergのデータより岡三アセットマネジメント作成

図表2. 主要株価指数と主要セクターの騰落率
(10月22日終値～11月19日終値)



※セクターは、GICS基準(世界産業分類基準)で表示しております。

(出所) Bloombergのデータより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

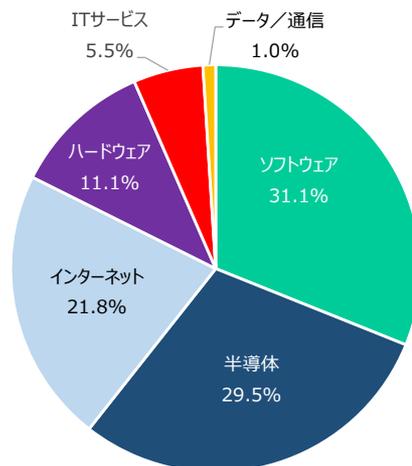
■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資先ファンドのポートフォリオの状況 (2021年10月末現在)

【業種別構成比率】

当ファンドの投資先ファンドである「JPモルガン・ファンズーUSテクノロジーファンド」における2021年10月末時点の業種別構成比率は図表3の通りです。中長期的にはデジタル・トランスフォーメーション(DX)や人工知能(AI)、自動運転などが主な成長テーマとして考えられることから、その流れに沿うことが期待されるソフトウェア、半導体、インターネットの3業種でポートフォリオ全体の約80%を占める状態となっています。

図表3. 業種別構成比率 (2021年10月末現在)



(出所) J.P.モルガン・アセット・マネジメント資料を基に岡三アセットマネジメント作成

【組入上位10銘柄】

2021年10月末時点の組入上位10銘柄は図表4の通りです。株式時価総額が1兆米ドルを超えるテスラやアルファベット、アップルなどを上位に保有しています。また、当ファンドの設定来より株価が堅調に推移している半導体業種の4銘柄を上位に保有しています。

図表4. 組入上位10銘柄 (2021年10月末現在)

銘柄	業種	比率 (%)	銘柄概要
1 テスラ	ハードウェア	5.1	高性能電気自動車と電気自動車パワートレイン部品の設計・製造・販売会社。独自の販売網を保有し、電気パワートレイン部品を他の自動車メーカーに販売する。
2 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD)	半導体	4.5	マイクロプロセッサ、埋め込みマイクロプロセッサ、チップセット、グラフィックス、動画、マルチメディア製品などを提供する半導体メーカー。サードパーティーに製品を供給するほか、組み立て、試験、および包装サービスを手掛ける。
3 アルファベット	インターネット	4.5	子会社を通じ、ウェブページの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、モバイルオペレーティングシステム、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウェア製品などを提供する。
4 シノプシス	ソフトウェア	3.2	電子設計自動化ソリューション提供会社。設計テクノロジーを高度IC、電子システム、システム組み込み型チップなどの開発業者に提供する。コンサルティングや支援サービスも手掛け、設計工程全般にわたる効率化や早期商品化を支援する。
5 エスビディア	半導体	2.9	3次元(3D)グラフィックスプロセッサと関連ソフトウェアの設計・開発・販売会社。同社の製品は、主要パソコン向けに双方向3Dグラフィックスを提供する。
6 フェイスブック (メタ・プラットフォームズ)	インターネット	2.8	ソーシャルテクノロジー会社。ユーザーをつなぎ、コミュニティを見つけ、事業の成長を支援するアプリケーションおよび技術を構築する。広告、拡張機能化、仮想現実も手掛ける。
7 ラムリサーチ	半導体	2.4	IC製造用の半導体処理装置メーカー。アフターサービスも提供する。製品は、シリコンウエハー上に付着させた特殊フィルムの一部をエッチングして回路を設計するために使われる。世界で製品を販売。
8 アップル	ハードウェア	2.4	パソコン、モバイル通信機器、各種関連ソフトウェア、周辺機器、ネットワーク・ソリューションの設計・製造・販売に従事。製品は、自社オンラインストアや直営小売店、自社販売員、サードパーティー卸売り、再販業者を通して販売される。
9 モンゴDB	ソフトウェア	2.3	汎用データベース・プラットフォーム開発会社。導入の自動化・監視・バックアップ管理プラットフォームを提供するオープンソース・データベース開発のほか、エンタープライズソフトウェア統合、プラットフォーム認証などを手掛ける。
10 インフェーズ・エナジー	半導体	2.3	太陽光発電ソリューション会社。太陽電池モジュールの生産性や信頼性を高めるソリューションを提供する。

(出所) J.P.モルガン・アセット・マネジメント資料を基に岡三アセットマネジメント作成

※業種は、J.P.モルガン・アセット・マネジメント独自の分類 ※構成比率は、投資先ファンドの組入有価証券を100%として算出 ※四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。 ※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

※組入第6位のフェイスブックは、11月1日付でメタ・プラットフォームズに社名変更しています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資先ファンドのポートフォリオの状況 (2021年10月末現在)

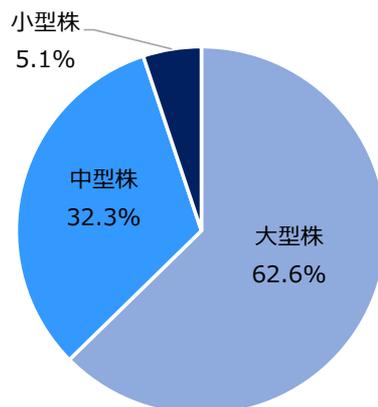
【企業規模別の構成比率】

2021年10月末時点の企業規模（株式時価総額）別の構成比率は図表5の通りです。

株式時価総額が500億米ドルを超える大型株が62.6%、同100億米ドル以上500億米ドル以下の中型株が32.3%、同100億米ドル未満の小型株は5.1%となっています。

※企業規模は、本資料においての分類です。

図表5. 企業規模（株式時価総額）別の構成比率
(2021年10月末現在)



(出所) J.P.モルガン・アセット・マネジメント資料を基に岡三アセットマネジメント作成

【株式市場の見通し】

S&P500種株価指数構成銘柄の2021年通期の予想EPS(1株当たり利益)成長率は前年比43%、2022年通期では同8%の増益に達すると見込んでいます。米国における失業率の変化や財政政策の動向、新型コロナウイルスの動向などを巡る先行き不透明感が残るものの、長期的には、技術革新がますます進んでいく中、テクノロジー関連をはじめとする企業業績の見通しは明るいと考えます。

【運用方針】

当ファンドで保有する銘柄の多くは、デジタル・トランスフォーメーション（DX）、人工知能（AI）、自動運転、オーバー・ザ・トップ（OTT、インターネット回線を通じたコンテンツ配信サービス）、第5世代移動通信システム（5G）、デジタル決済などの長期的な成長が期待されるテーマに沿っています。業種別では、特にインターネットや半導体が注目テーマからの恩恵を受けると考えており、ポートフォリオにおけるウェイト付けを強化する方針です。

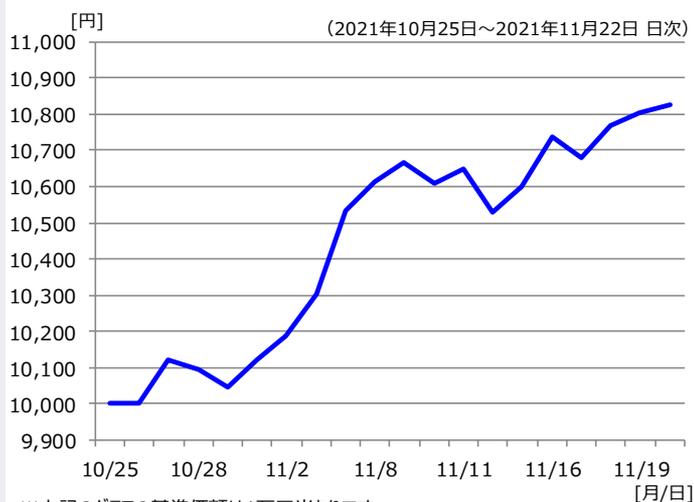
※本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点におけるJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/株式**
為替ヘッジあり(作成基準日 2021年11月22日)
基準価額の推移

ファンドデータ (11月22日現在)

基準価額 (円)	10,828
残存元本 (百万口)	2,124
純資産 (百万円)	2,300

ポートフォリオ構成比率 (11月22日現在)

JPMorgan・ファンズーUSテクノロジーファンド (イラス) (円建て、円ヘッジ) (%)	97.9
マネー・リクイディティ・マザーファンド (%)	0.2
短期金融商品その他 (%)	1.9

為替ヘッジなし(作成基準日 2021年11月22日)
基準価額の推移

ファンドデータ (11月22日現在)

基準価額 (円)	10,842
残存元本 (百万口)	30,455
純資産 (百万円)	33,020

ポートフォリオ構成比率 (11月22日現在)

JPMorgan・ファンズーUSテクノロジーファンド (イラス) (円建て) (%)	95.8
マネー・リクイディティ・マザーファンド (%)	0.2
短期金融商品その他 (%)	4.0

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/株式**
米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)に関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品、金融債、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
 - ：純資産総額×年率1.298%（税抜1.18%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
 - ：純資産総額×年率1.948%程度
- 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			

※三縁証券株式会社は、2021年11月26日から取扱い開始です。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)